

環境回復サロン笑みなさんからの報告です。

肺気腫を患っていたため 朝起きてから痰が出てしまうまでの間 咳き込んでとても辛い思いをしていたので 吸入器を購入して深遠を毎日吸入するようになってから 咳も出なくなり痰が絡むこともなくなりました

M T様

一週間前に 吸入器と深遠吸入用を購入されたN様が深遠を追加で欲しいとご来店されました。先週スタンプMから吸入器を購入したい人がいるので取り置きしておいて欲しいと連絡がありました。閉店時間が近づいた頃にN様が来店されました。N様からのお話では お父さんが肺がんはかなり重篤な状態だということでした。しばらく前まで元気に生活されていたようですが、急に具合が悪くなり医者からも高齢のため 緩和ケアを勧められて入所されたそうです。酸素マスクを装着されているのですが、かなり苦しそうです。できるところがあれば何でもしてあげたいと思いい笑みなにご来店されたようです。私は 笑みな建物に抗酸化の環境になっていること。抗酸化溶液を使って建てられたこの空間では体内の

過剰な活性酸素を消去し 酸化悪い病気を食ひ止めるということ。パランスのとれた抗酸化空間にいるだけで病気にもなりにくいこと

等の説明をした後「深遠は抗酸化溶液そのものを 蒸留して作られた安全な水 命の水であり、吸入をして肺に取り込み血液や酸素とともに全身に巡らせることで、抗酸化溶液の効果を直接身体に作用させることができることを伝えました。Nさんは

今から父親の元に行き早速吸入をさせてあげたいとお帰りになりました。その後結果を今日N様から聞きとても喜んでいきます。お父さんの病状はともよく、酸素マスクは装着されているようですが、酸素の量も一ランク下げることが出来、血液検査では血中の酸素濃度は95%まで回復しているとのこと。とてもお元気で、あの人にもこの人にも、あんたもちてみなさん」と吸入を勧められているそうです。そして、Nさん自身も昨年脱穀作業をきかけに喘息の発作が起きるようになり、季節の変わり目になるととても辛く、病院で薬を処方してもらったことになったそうです。毎日飲む薬を一回止めただけでも、半日後には発作が起るようになったそうです。先週 お父さ

んに吸入をさせたときにご自分も吸入したそうですが、一度の吸入で二日間薬なしで過ごすことが出来たと言っ体験をし、今後はご自分も吸入をする事に決めたそうです。薬を飲むこと、薬剤を身体に取り込むことに抵抗感のないのに、蒸留した安全な水を吸入する事をためらう人がいます。真実のみの情報をお伝えしています。N様の体験を読み、信じても信じないもあなた次第です。

N様

二年前の会社の健康診断の胸部X線検査の結果、左下肺に異常陰影の疑いあり。胸水の疑いあり、要病院受診との結果が出ました。お父様がガンで亡くなられたときの壮絶な闘病生活を見て、もし自分がガンになっても、抗がん剤だけはやるまいと心に強く決めていたそうです。そして、病院側の詳しく検査が必要との意見を断り、インターアクトで笑みなを見つけてから間もなく、キャンバック制度を利用して笑みなに毎日通院を始めたO様です。そのころ腫瘍の大きさは直径八センチまに達していたそうです。今までの食生活を省みて、抗酸化還元水を作り、抗酸化米を購入し、抗酸化味噌を作り、抗酸化パン、大好きなラーメンは抗酸化麺、多少のお酒は止めることができず、せんが、寝室も不要なものを処分し、抗酸化ワックスを床、壁、天井に至るまで全てに塗り、セミナーに参

加されて抗酸化のペンダントを購入し身に付け、フコイダン黒酵母発酵エキスを毎日飲み、深遠の吸入をし、深遠のお守りをぶら下げ、笑みなを勧めるところは支えて行てきました。その結果一年前の健康診断では左中肺、左下肺に胸水の疑い、胸膜肥厚、精密検査が必要との所見、その結果を見てO様は少々がかりされて、一年間ほぼ毎日通いながらも期待した結果が出なかつた。と仰ていました。それでも私はガン細胞が大きくなっているとは書かれていないし、胸水が溜まっていると書かれてはるけれども、息苦しさや咳が出ていることも無く、顔色もよく、何よりもご自分の体が元気がどうか分かるのはO様自身ではないので、励ましました。それから一年、今年の検査の結果が出たということでO様に報告書を見せてもらいました。今回の所見、左中肺、左下肺に胸膜肥厚のみ記入されていて、胸水の疑いという文字は消えていました。胸膜肥厚とはどう言うことなのかを念のため調べてみました。

胸膜とは肺を覆っている膜のことです。炎症を起こして治癒すると、胸膜が厚くなって傷跡のようなものが残ることがあり、これを胸膜肥厚といいますが、「とありました。素晴らしい結果が出たことを心から喜びたいと思いません。

H O様